

# たかねざわ

議会だより

10

October.2017  
No141

笑顔をつなぎたい  
安心な未来へ!!

表紙の写真…高根沢で初開催された「RUN伴栃木2017」の様子

## Contents

- 9月定例会
  - 平成28年度歳入歳出決算認定…………… 2
- 議員定数が変わります!…………… 5
- みんなのお金は有効に使われているか?…………… 6
- 一般質問
  - 包括連携の効果など8議員が町政を問う…………… 15
- 突撃インタビュー
  - ～健康長寿日本一に!～鯉坂英一さん…………… 24

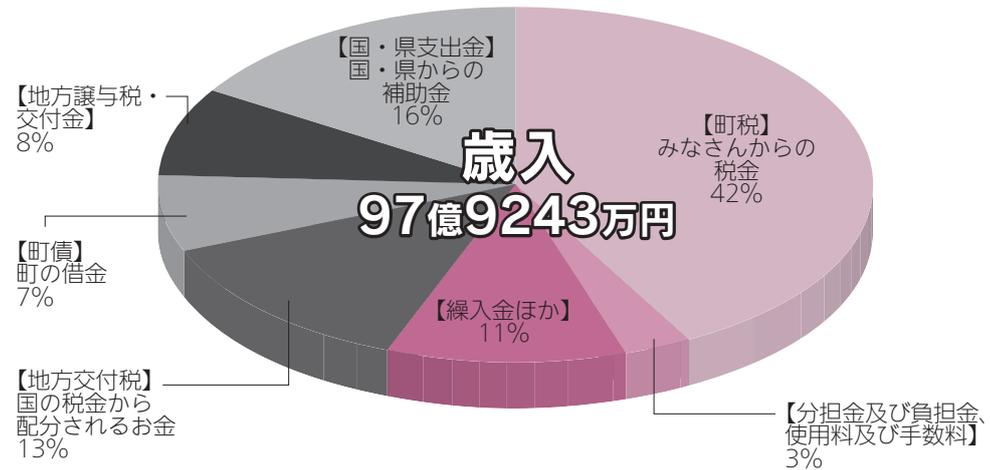


# 歳出決算認定

9月  
定例会

原案全てを  
**可決**

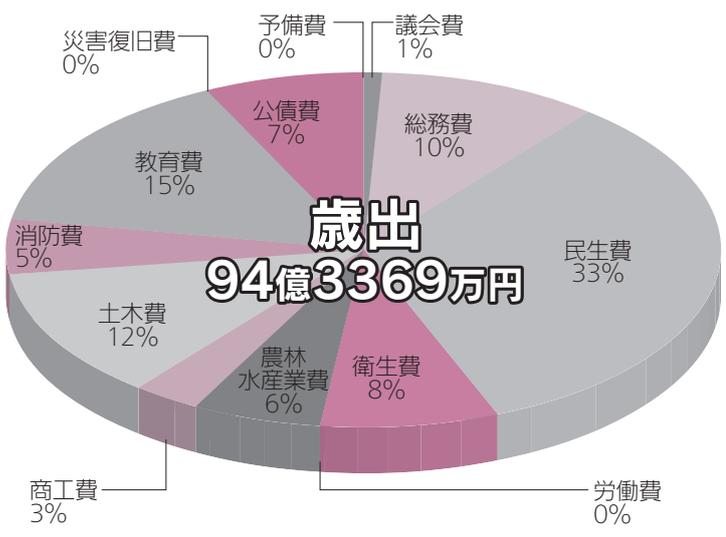
9月定例会  
特別委員会  
委員会審議  
研修報告  
OJ知識・チャレンジ  
一般質問



前年度との比較増減

名目	28年度	27年度	前年対比
町税	43億3659万円	41億9664万円	103.3%
地方交付税	12億9413万円	12億8140万円	100.9%
国・県支出金	16億4087万円	16億2663万円	100.8%
町債	5億8190万円	6億5980万円	88.0%

第382回定例会は、9月5日から20日までの会期で開催しました。28年度決算認定8議案、28年度の決算に係る報告6件、29年度補正予算8議案と図書館指定管理認定1議案、更に、陳情審査と盛り沢山の審議と審査を行いました。一般質問は8人の議員が行い、町と企業の包括連携協定のあり方、元気あつぷむらの「道の駅」一化、平和行政、学校建設等の施策について、執行部と議論を交わしました。また、各常任委員会では、付託された補正予算等の議案を審議しました。そして、全議員による初の決算特別委員会を開き、28年度の事業内容を明らかにしました。最終日は、各常任委員長より委員会審議報告がされ、全議案を原案どおり可決。さらに、宝積寺地内の雨水幹線管渠築造工事の他、議員定数を定める条例の改正などの追加議案を可決しました。



前年度との比較増減

名目	28年度	27年度	前年対比
民生費	31億4733万円	29億5034万円	106.6%
教育費	12億3974万円	14億8414万円	83.5%
土木費	9億0303万円	11億7938万円	76.6%
農林水産業費	5億5033万円	6億1583万円	89.4%

# 町の元気にキックオフ 平成28年度歳入

## 平成28年度

## 一般会計歳入歳出

## 決算の内容

歳出総額は、94億3369万円で、前年度に比べ1億1226万円の減額となりました。

歳出の構成をみると、民生費が全体の33%で一番多くなっています。少子高齢に対する社会福祉費用の占める割合は例外なきもので、主に介護保険会計や後期高齢者医療会計への繰り出し金や保育園の運営委託等に充てられています。加えて、総務費・教育費を合わせると、全体の約58%を占めた結果となりました。総務費は、震災復興特別交付金の清算による財政管理費の歳出が大きな比重を占めています。全体的には子育て、高齢者支援等に配慮した財政運営をしてきたことが判断できます。

### 平成28年度 各会計別決算 総括表

名 目		歳入総額	歳出総額	差引残高
一	般 会 計	97億9243万円	94億3369万円	3億5874万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	31億9809万円	31億5199万円	4609万円
	後 期 高 齢 者 医 療	2億3569万円	2億2972万円	596万円
	介 護 保 険	20億4611万円	20億 822万円	3789万円
	宝積寺駅西第一土地区画整理事業	1億2495万円	1億 125万円	2370万円
	公 共 下 水 道 事 業	11億1617万円	10億7282万円	4335万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億7606万円	1億6854万円	752万円
水道事業会計	収益的収入及び支出	5億8724万円	5億1446万円	7278万円
	資本的収入及び支出	2062万円	2億2177万円	△2億114万円

## 主な29年度補正予算

一般会計の補正総額は、3億6715万円を追加し、今年度予算総額は98億2816万円になります。

追加された主な補正項目

庁舎整備基金積立金

1億5000万円

財政調整基金積立金

7924万円

町道87号線舗装修繕事業費

1076万円

歳入では、臨時財政対策債として2000万円を追加計上しました。

これは、地方交付税の追加補正に伴い、その一定割合を地方が金融機関から借り入れるものです。



新しい取り組みロックサイドマーケット

# 各々の議員が行政運営をしっかりと審査 9月定例会での採決結果一覧表

議案	議員名	佐藤晴彦	鈴木伊佐雄	渡邊俊	中山喜美一	加藤章	齋藤武男	川面充子	梅村達美	横須賀志利	加藤貞夫	神林秀治	森弘子	松本潔	野中昭一	鈴木利二	阿久津信男	採決結果	
発議 第1号	高根沢町議会決算特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第1号	高根沢町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第2号	高根沢町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第3号	高根沢町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第4号	高根沢町都市公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第5号	平成28年度高根沢町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
第6号	平成28年度高根沢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第7号	平成28年度高根沢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
第8号	平成28年度高根沢町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
第9号	平成28年度高根沢町宝積寺駅西第一土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
第10号	平成28年度高根沢町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第11号	平成28年度高根沢町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第12号	平成28年度高根沢町水道事業会計剰余金の処分及び歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第13号~第20号	平成29年度高根沢町補正予算議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第21号	高根沢町図書館3館及び関連施設に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
第22号	町道の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
陳情	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情(委員会は継続審査)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
陳情	議員辞職の勧告を求める陳情書(委員会是不採択)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎

※1 小林 栄治 議員は、議長であるため採決に加わりません。

※2 ○は賛成で、×は反対、◎は可決の意味を表しています。

全国森林環境税の創設に関する陳情

陳情者

全国森林環境税創設促進議員連盟

提出の理由

森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るため「全国森林環境税」の早期の導入を求める意見書を政府並びに国会に提出すること

質疑内容

8ページの総務常任委員会報告に記載

審議結果

全会一致継続審査

議員辞職の勧告を求める陳情書

陳情者

森 文夫氏(宝積寺)

提出の理由

加藤貞夫前議長に対し議員辞職の勧告をなしてください

質疑内容

8ページの総務常任委員会報告に記載

審議結果

全会一致不採択

テロ等準備罪を新設する組織犯罪処罰法の改正に関する陳情書

陳情者

高根沢・九条の会

提出の理由

処罰法の廃案を求める意見書を政府並びに国会に提出すること

質疑内容

8ページの総務常任委員会報告に記載

審議結果

全会一致不採択

県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出に関わる陳情

陳情者

全栃木教職員組合

提出の理由

県立高校の入学選抜で定員が満たない学校がある場合にその高校において一般入試で不合格になった方を対象に再募集をすることを求める陳情

質疑内容

11ページの教育福祉常任委員会報告に記載

審議結果

全会一致不採択

# 平成30年4月改選より 議員定数が変わります！

## 議員定数検討特別委員会報告

来年4月の町議選から

1人削減の定数16人に

### 《意見》

議会を取り巻く現状は、「議会・議員の役割や機能は曖昧で、住民からは何をやっているか解りづらい」。

また、「議会・議員も発信力や説明力に欠け、その意欲も希薄であり、住民の関心を集めることなどほとんどない」などの声があり、議会の存在意義が薄れている状況であります。

このような背景のなか、議会改革が急務と捉え、議員定数検討特別委員会を設置し、近隣の町の視察や検討会議を、計5回開催しました。

委員会の検討内容は、「二元代表制での議会機能を果たすと共に、住民の代表としての役割を果たすうえで、適正な必要議員数は何人か？」ということを中心に議論しました。

### 《結果》

議員定数は現在の17人に対し、1人減の16人が適当と結論に達しました。

### 議長へ提言！

#### 継続した議会改革の必要性

議員定数については、今後も社会情勢などを考慮して検討することや、議会の存在意義を、議員自身が絶え間なく問い続けることが必要と考えます。

そこで、(仮称)議会改革特別委員会等を設置し、常に問題意識を持ち続けていけるよう、議長に提言しました。

全会一致で可決

「議員定数条例の改正」

定例会最終日に、議員提出発議で「高根沢町議会の議員の定数を定める条例の一部改正」を行いました。

鈴木利二委員長から、提案理由の説明があり、主旨賛同のうえ、全議員が賛成し可決しました。

#### 「議会活性化検討委員会」の設置

特別委員会の提言を受け、定例会終了後に開催した全員協議会で、議長提案案として「議会活性化検討委員会」の設置を求められ、了承されました。

この委員会は、目まぐるしく変化する社会情勢の中で、議会の役割も広がりが見られ、議会の更なる進展を図るために設置します。

#### 〈検討テーマ〉

1. 通年議会の導入
2. タブレット導入による情報共有化
3. その他議会改革など

#### 〈構成メンバー〉

各常任委員会から2名選出の6名体制

#### 〈期間〉

平成29年10月～平成30年2月まで

# 億250万円を認定

## 決算特別委員会を設置

9月議会定例会から決算の審査方法が変わりました。

今までは、各常任委員会ごとに所管分の決算を審査していましたが、平成28年度決算から決算特別委員会を設置し、全議員が全ての決算を審査することになりました。

これにより、町全体のお金の使いみちを議員全員が把握し、より慎重な審査ができるようになりました。

【旧】

総務常任委員会分決算

教育福祉常任委員会分決算

建設産業常任委員会分決算

各委員が審査

【新】

町全体の決算

決算特別委員会(議員全員)で審査

平成26年度と比較して平成28年度は、電気料で約670万円、修繕費で約100万円削減となりました。

**A**

防犯灯をLED化した効果は？

**Q**

防犯施設維持管理費

平成26年度は米価が低価格となったために、農家の所得が下がり、平成27年度の住民税が減額になりました。しかし、平成27年度は米価が前年より回復し、平成28年度の税額が戻ったことによるものです。

**A**

個人及び法人の町民税は、平成27年度に比べ、28年度は増収になっている。その要因は？

**Q**

町民税



蓄電池車アキムも快走中！

総じては、「魅力的な地域資源が多数ある中で、知名度が低く資源の情報が十分に発信されていない傾向にある」という分析内容です。そのことをふまえて本年度は、まずはホームページ、フェイスブック等、2市町かけ合わせのプロモーションから取り組みを進めています。

**A**

本事業の分析内容は？

**Q**

JR烏山線沿線まちづくり推進事業

# みんなのお金は有効に使われているか 平成28年度歳出169

## 国民健康保険税

**Q** 医療費の抑制に向け、どのような取り組みを行ったのか？

**A** 国保会計の財政状況は厳しい状況にあるため、医療費の分析を図り、特定健康診査の受診率の向上に努め、また、ジェネリック医薬品の推奨や生活習慣病予防のプロジェクトチームを作り、健康づくりに努めてきました。

## コンビニ交付事業

**Q** コンビニ交付事業費における事業効果は？

**A** 「いつでも、どこでも、すぐに」証明書が取れるため、住民サービスの向上が図られます。  
また、全国のコンビニ店舗において利用できるため、機器の調達コスト等の低減となっております。

## いじめ・不登校予防対策事業

**Q** Uテストを実施した結果の分析と対応策は？

**A** すべての小中学校で6月と11月の2回アンケート調査を実施しました。  
1回目で満足が低かった学級に対して学校全体で対応したことで、2回目は、学校生活への満足度が向上しました。  
その中で、小学1年生と中学1年生には課題がみられたことから、今後も幼小連携と小中一貫教育の更なる推進により学校での取り組みを充実させます。



コンビニで「いつでも、どこでも、すぐに」

## パイプハウス補助事業

**Q** 執行率が35%であるが、原因及び対策は？

**A** 原因は、十分な周知が図られなかったことです。  
対策は、農業者すべてとパイプハウス販売業者にもパンフレットを配布します。  
また、より利用しやすい制度に変えていきます。

## 農産物広報事業

**Q** 直売農家の事業効果は？

**A** 直売農家は、32件の登録がありました。  
実績は、町外からも含め100人以上の来客があり、売り上げが伸びている直売農家もあります。  
直売屋マップは、3千部作成しましたが、問い合わせも増えています。

## 農産物加工品ブランド化推進事業

**Q** 本事業の内容と効果は？

**A** 国の「地方創生加速化交付金」を活用したもので、「ロックサイドマーケット」の4回の開催及び「食」等をメインに紹介する冊子の作成に要した費用です。  
その効果は、交流人口の増加と高根沢ローカルグルメを町内外の不特定多数の人にアピールしました。



この町の魅力満載！

一般会計と

特別会計の連結を重視

本文記事はP2・3

一般会計は、公共下水道事業や介護保険事業などの特別会計に、財源の一部を繰り出しています。また、水道事業に出資しています。したがって、特別会計に滞りが出れば、一般会計に大きな影響を及ぼします。

総務常任委員会として、平成28年度決算に係る連結実質赤字比率を最重要と捉え、審査しました。

陳情審査3件を審査しました

全国森林環境税の創設を

求める陳情

陳情者 新潟県村上市

全国森林環境税創設議員連盟

会長 板垣一徳氏

主旨説明

山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や雇用の確保等の取組みは地球温暖化防止や国土の保全と地方創生につながっている。

このような状況から、森林・林業・山村対策の強化を図るため、「森林環境税」の導入を求める意見を政府・国会等に提出いただきたい。

審査内容

環境保全、防災対策から見て、森林保全は大事な施策と考えるのは当然である。

しかし、栃木県には、既に「とちぎの元気な森づくり県民税」がある。

よって、本町よりも森林面積の多い市町村の動向を慎重に見極めたうえで判断するのが妥当である。

審査結果

全会一致で閉会中の継続審査

議員辞職の勧告を求める陳情書

陳情者 高根沢町宝積寺 森 文夫氏

主旨説明

加藤貞夫前議長は、知人の通夜に生花や供え物をし、公職選挙法違反の疑いで、宇都宮地方検察庁に刑事告発され、本人も事実を認めている。

よって、加藤貞夫前議長に対し、議員辞職の勧告をすべき。

審査内容

宇都宮地検の処分決定がされていない状況で、判断は難しいのではないかと。また、進退の判断は、議員として、本人がすべきではないか。などの意見が出された。

審査結果

全会一致で不採択

閉会中の継続審査

テロ等準備罪を新設する組織犯罪処罰法の改正に関する陳情

審査内容

2017年6月に、国会で成立した同法は既に施行されている。

審査結果

全会一致で不採択

高根沢町の財政状況は？

早期健全化基準を大きくクリアしています

健全化判断比率 (%)

区分	高根沢町の比率	早期健全化基準
実質赤字比率	- (▲5.36)	14.3
連結実質赤字比率	- (▲21.71)	19.3
実質公債費比率	4.5	25.0
将来負担比率	- (▲27.4)	350.0

※「-」は、赤字または資金不足を生じていないことを表しています。

国が示す、ボーダーラインは、19.30ですが、本町の比率は、▲21.71です。この数字から判断すると本町の財政は堅実な状況にあると云えます。

しかし、財政健全化計画を表わしている国民健康保険特別会計の収支は厳しい状況にあります。

任委員会

審議報告

推進課・企画課・地域安全課・監査委員事務局・議会事務局

# 常務総務 の付託案件

所管課 (総務課・夢咲くまづくり  
税務課・環境課・会計課)

## 平成29年度 一般会計補正予算

### 説明

- 主な補正
  - 歳入
    - 地方交付税 1億1593万円
    - 財政調整基金繰入金 減額3922万円
    - 減債基金繰入金 減額1億円
  - 繰越金 1億3538万円
  - 歳出
    - 公債費 215万円
- その他、平成30年度から平成32年度までのデマンドバス運行事業の予算の裏付けとして8850万円を限度額とする債務負担行為の補正

### 条例制定の質疑

Q

農業委員会を新たな体制にするための条例制定について、町長が選任する委員はどのような方が対象となるのか？

A

農業委員は、推薦と公募に基づき、議会の同意を得て、町長が任命します。

Q

臨時財政対策債の限度額が2千万円増額されているが、その理由は？

A

普通交付税の確定に伴い、当該地方債を増額するものであります。

Q

固定資産税が1億2200万円増収になっている。どういう事由によるものか？

A

今回の追加補正は、自動車関連大手企業の償却資産が主なものです。

### 主な質疑

Q

デマンドバス「たんたん号」は、今日も元気で

A

たんたん号は、「高齢者等交通弱者が利用しやすい公共交通の実現」を目指して、平成22年度から「地域の足」として、毎日、町内をくまなく走っています。

過半数は、認定農業者であること。農業者以外の選任は中立な立場の方、また、女性や青年も積極的に登用することが国から示されています。

Q

デマンドバス運行事業の債務負担行為補正で、平成30年度から平成32年度までの3年間で8850万円となっている。限度額は契約に基づいて算出されていると考える。実際はどうなのか？

A

契約を行うための、予算の裏付けとして限度額を設定しています。また、債務負担行為が3年間となっているので、事業費が当初に設定した額面より増減することもあり、予算を組み直すこともあります。



本町の優良水田は、美味しいコシヒカリの産地です

H28年度 利用目的(施設)10位

目的	人数
1 元気あっぷむら	7,272
2 とりせん高根沢店	3,829
3 黒須病院	3,325
4 宝積寺駅	3,250
5 中津川クリニック	3,126
6 深澤クリニック	2,672
7 倉持整形外科	1,538
8 リオン・ドール高根沢店	1,463
9 まなか医院	1,210
10 オータ二高根沢店	986

その対策として、利用者が多い時間帯に運行台数を増やせるのか実証運行を検討しています。平成30年度からの運行委託先は、「高根沢町地域公共交通会議」において、公募型プロポーサル方式により決定することになりました。

平成29年度  
一般会計補正予算

説明

主な補正

- ・障害福祉サービス費支給事業費 5279万円
- ・郷土資源・文化財活用事業費 42万円
- ・図書館施設修費・改修事業費 250万円
- ・その他、各経常経費の人員費、福祉助成事業等の補正

安心・安全な

保育園給食の提供



楽しい給食

主な質疑

Q

保育園給食業務債務限度額は、過去3年分と比較し増減はあるか？

A

人件費に対する算定額で、管理栄養士・調理師の算定額が全国水準額より低いため、算定額を19万円にし、パート時給を750円から900円にしたことが主な要因で増額となっています。

Q

図書館・公民館指定管理委託の限度額は、過去5年分と比較した場合の増減と、町直営にした場合の比較は？

A

学校図書強化のために、職員を25名から1名増加の26名にしたことなどを主な要因として、年間758万4千円、5年間で3792万円の増加と算出し、過去5年分と比べ増額になっています。また、町直営で行った場合の算定は、委託するより約1000万円高くなります。

その他質疑

Q

図書館の施設改修設計委託額の算出内容は？

A

図書館中央館空調室外機の改修に伴う設計委託であり、委託料の算定方法は改修事業予定費5000万円の5%です。

Q

マイナンバーカードの申請率は？

A

マイナンバーカードの申請率は、12・3%で県内で4位の実績です。3561枚を発行しています。

# 任委員会 審議報告

課・住民課・健康福祉課)



安心して使えるグラウンドを目指して



図書館利用風景

# 常設福祉教育 の付託案件の

所管課

(こどもみらい課・生涯学習)



**Q** 今後の医療費は増える傾向か？

**A** 平成29年度の当初予算は前年度を参考に算出しており、データヘルス計画等の医療の推移から推測すると、特出して高額なケースが多く出ない限り、現行予算範囲内で対応できると考えています。

※データヘルス計画  
レセプト(診療報酬明細書)や特定健康診査などから得られるデータ分析に基づき、より効果的な保健事業を行うための実施計画です。

一人当たりの国民健康保険給付費及び推移

区分	H24	H25	H26	H27	H28
一人当たり保険給付費(円)	213,469	211,827	220,670	245,548	266,862
保険給付費(千円)	1,633,251	1,586,800	1,610,451	1,742,412	1,762,891
被保険者数(年度平均)(人)	7,651	7,491	7,298	7,096	6,606

**対応** 阿久津小学校の校庭からガラ・塩ビパイプが出てきた件に関する現状報告と今後の対応

現状としては、鉄筋棒とボールで校庭各所を刺してコンクリートのガラ等があるかを調査したが、特に対象物は見つからなかったため、ガラや塩ビパイプが見つかった場所の周辺を、9月中旬に30cmほど掘削調査し、その時期は学校と協議し、運動会等に影響が出ないように行うとのことでした。

当委員会としては、子どもたちの安全を最優先し、全面的な調査・修繕を要望しました。

なお、定例会後の全員協議会での説明では、運動会までにガラや塩ビパイプが出た場所周辺数か所を掘削調査し、その結果全面的な調査修繕を検討するとの報告がありました。

閉会中の継続審査

**審査内容**

県立高校の入学選抜で定員が満たない学校がある場合にその高校において、一般入試で不合格となった生徒を対象に再募集を実施することを求める陳情。

**意見**

- ・ 県教育委員会において特例校を含めて県立高校再編計画が進められている。県の動向を見ていく必要があるのではないか。
- ・ 栃木県議会でも不採択になっており、特色選抜、一般選抜、定時制選抜、通信制選抜と4回の試験の機会が確保されている現状がある。

- ・ 中学生と保護者が経済的負担の少ない所に行きたいと言われているが、貧困家庭の救済の概念がないものではないか。

- ・ 教育の機会確保の観点では、現在の入試環境を踏まえ、進学するものが将来をしっかりと考えた上で、計画を立て入試に臨むべきである。

**審査結果**

全会一致で不採択

平成29年度一般会計  
補正予算

説明

主な補正

- ・農業振興対策費 637万円
- ・土地改良施設改修整備事業費等 1614万円
- ・道路維持事業費 1568万円
- ・下水道事業費 447万円
- ・公園事業費 70万円
- ・その他、各種経常経費の  
人件費や住宅管理維持費の  
補正

主な質疑

Q

児童公園の滑り台設置はいつ頃になるのか？

A

年内に設置できるよう工事を発注します。

Q

農地集積協力金の返還の理由は？

A

農地中間管理機構を通じ、農地を10年間貸し付けた者に対して支払われる交付金で、途中で解約したため支払われた交付金を全額返還するためです。



認定された町道

意見案

道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求め  
る意見書

結果

道路は安全安心な暮らしと持続的な地域経済の成長を支え、災害時におけるライフラインの機能を有する重要な社会基盤施設であります。

地域創生に全力で取り組んでいる中、道路整備に係る補助金を低減することがないよう、全委員一致により意見書を提出することに決しました。

町道の認定

Q

光陽台2丁目の町営光陽台住宅にある道路を町道に認定する理由は？

A

緊急車両の通行など道路の安全確保を図るため認定しました。

※高上げ措置

現在、法律の規定によって、平成29年度までは道路の補助金事業の補助率等が高上げされていますが、平成30年度からは補助率が下がってまいります。  
補助率が下がると町の負担が増え、橋梁点検や道路維持管理に大きな影響を及ぼす恐れがあります。よって、国においては補助率の高上げ措置を平成30年度以降も継続するよう強く要望したものです。

任委員会  
審議報告

水道課・農業委員会事務局)



中坂上公園に設置されたすべり台

# 建設産業常 付託案件の

所管課

(都市整備課・産業課・上下

工場視察

## 道の駅を拠点としたまちづくりの調査 捨てない農業、育てる市場への取り組みの調査

建設産業常任委員会所管事務調査報告

7月25日 岐阜県下呂市 26日 岐阜県高山市

### 〇一日目調査〇

岐阜県下呂市「飛騨金山めぐ森の里温泉」道の駅を視察いたしました。

下呂市飛騨金山地区は人口減少が顕著な地区であり、人口は最盛期の約半分に減少しています。平成6年『福祉・健康・スポーツ・休養』に関する各施設を集中的に整備し健康づくりに関する有機的な連携により、地域住民の健康づくりを推進してきました。

その結果、平成26年には、地方創生拠点形成に関する先駆モデルとして重要道の駅と位置付けられ、福祉機能、交通結節点、防災、観光総合窓口、交流・連携事業など、地域一体型の地域づくりに貢献しています。

道の駅は、これからの地域づくりの核となる施設です。

### 〇二日目調査〇

高山市において『捨てない農業』の実現にチャレンジする(株)ミナチルの取り組みについて研修しました。

ほうれん草の生産日本一を誇る高山市では、厳しい出荷基準をクリアしたものが「飛騨ほうれん草」として市場に出荷されていますが、規格外品や端材となってしまうものも数多くありました。野菜として味や品質は

正規品として遜色ない端材を資源として、生産から加工までの六次産業化を目指した取り組みを確立しております。

本町は「もったいない」精神が根付いております。高根沢町農業の六次産業の取り組みに生かせるよう提言していきます。

## 捨てられない「議会だより」を目指して!!

広報広聴特別委員会所管事務調査報告

7月4日 町村議会広報クリニック(北海道・東北・関東地区)

### 「広報クリニック」 とは?

読まれる広報誌作成のため、全国市町村会館(東京都千代田区)において、年数回開催しております。

今回は、53町村議会が参加し、参加議会が多数のためランダムに三分の二の分科会にわかれ、他町村の、「議会広報誌」について、評価、評論し、手に取って読んでいただけるような紙面づくりにするために、良いところや、直すべき内容など、講師のもと学ぶ場であります。

これらの視点を配慮し、分かりやすい標記をし、更により多くの方に見て頂くための創意工夫が必要とされております。

私たちが、町民の皆様が発行を心待ちしてもらえようような広報誌づくりを目指します。

### クリニックの視点!

- ①住民に情報が伝わる紙面か
- ②住民視点での編集か
- ③住民視点での紙面表裏か

これら

の視点を配慮し、

更により多くの方に見て

頂くための創意工夫が必

要とされております。

私たちが、町民の皆様

が発行を心待ちしてもら

クリニックの様子

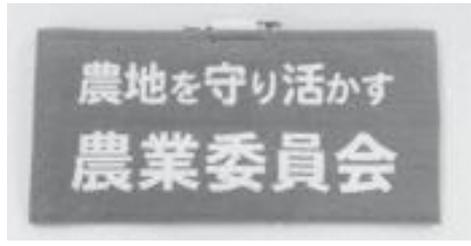


### お詫び

議会だより7月号の議会報告コーナーの町民意見(元気あつぷむら)において、近隣市町では65歳以上の方に月5枚の温泉券を発行していること掲載いたしました。1ヶ月5回を限度に「温泉入浴利用証」を交付している。が正しい内容であり、誤った表記をしまして、お詫びいたします。

# 平成30年5月10日より 「農業委員会」が大きく変わります!

- 農業委員会等に関する法律が改正され、平成28年4月1日から施行されました。
- 1 農業委員会の役割が強化されます。
    - ・担い手への農地利用の集積・集約化
    - ・遊休農地の発生防止、解消
    - ・新規参入の促進
  - 2 農業委員の選出方法を変更
    - ①公選制(選挙制)から推薦・公募制に変更され、町長が議会の同意を得て任命する方法に変更
    - ②農業委員(9人)過半数は認定農業者
      - ・青年・女性の登用促進
      - ・中立委員の任命
  - 3 農地利用最適化推進委員の新設
    - ①推進委員(18人)は農業委員会から委嘱
    - ②推進委員の主な業務
      - ・人・農地プランなど、地域の農業者等の話し合いを推進
      - ・農地の貸し手、借り手への働きかけを行い、農地利用の集積・集約を推進
      - ・遊休農地の発生防止・解消を推進



## ちよつとブレイク 「高根沢湧泉太鼓の会」躍進中!

高根沢湧泉太鼓の会は、平成8年、町制40周年の記念事業として発足しました。元気あつぷむらに温泉が湧いた事が名前の由来です。現在までの活動としては、「たんたん祭り」、「コスモスマつり」、「宮まつり」など各種お祭りなどへの参加をしています。

また、高根沢高校文化祭の和太鼓演奏の指導も行いました。

一昨年には、湧泉太鼓発足20周年を記念して、和太鼓フェスティバルを開催しました。

多くのお客様が町民ホールに來場され、メンバー全員が感謝の気持ちを込めて力の限り演奏しました。



来場者からは、「元気をもらいました」という声を頂き、その後の演奏の励みになっています。

本年10月15日には奈良県での国民文化祭で県代表として「華厳」という演目を演奏しました。

今後も聴いていただいた方がさらに感動する演奏を続けていきます。

合わせて、高根沢町をアピールするための演奏をしながら、各企業の記念行事での演奏もしていきます。

フレッシュなメンバーも募集しています  
(生涯学習課までご連絡を TEL675-3175)

# 町政を問う!

## 8人の議員が登壇

### ◆川面充子 議員…………… 16

- ①包括連携協定の効果は
- ②町の不登校対策は

### ◆佐藤晴彦 議員…………… 17

- ①学校における万全な安全対策を
- ②家族の絆が育まれるまちづくりを
- ③2020年教育改革に向けた準備を

### ◆鈴木伊佐雄 議員……… 18

- ①元気あつむらを道の駅にするための目的は
- ②駅周辺の賑わいが創出しているイベント今後も継続するのか

### ◆加藤章 議員…………… 19

- ①道路・橋梁は安全か
- ②水道事業の現状と今後の見通しは

### ◆神林秀治 議員…………… 20

- ①キリンビール所有地への企業誘致をどのように強化するのか
- ②庁舎被災時の業務継続計画は
- ③6次産業化の推進を
- ④援農ボランティア事業を実施しては

### ◆渡邊俊 議員…………… 21

- ①元気あつむらを道の駅に登録する施策の進め方は

### ◆森弘子 議員…………… 22

- ①「広島平和記念式典」へ中学生を派遣し町民に「平和の願い」を広めてはどうか
- ②ゴミのないまちづくりを推進するには

### ◆横須賀忠利 議員……… 23

- ①阿小の水道水は安心か
- ②東小学校建設にあたり受注業者に対する対策は
- ③元気あつむらにおける赤字決算の解消と今後の運営は
- ④町長が提唱している「4万人構想」の進捗状況と今後の町政運営は

本紙では、■の質問を要約して掲載しています。

詳細は、[YouTube](#)やDVD・会議録をご覧ください。



会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約2ヶ月後に発行します。  
役場・図書館(中央館・仁井田分館・上高根沢分館)で貸出し、閲覧ができます。

## 一般質問って?

一般質問は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。

議長が、質問と答弁がよくかみ合うように議事を進めるため、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要です。

そのため、議員としては、質問の構想を練り理論構成をしてその要旨を議長に通告する通告制をとっています。

質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

再質問は、一問一答方式で行っています。

### 9/6.7一般質問の傍聴者12名(全15名)

傍聴は、皆さんが選んだ議員の考えを知っていただく良い機会です。ぜひ傍聴にお越しください。



**協働**

※**問** 包括連携協定の効果は？  
**答**【町長】行政と民間企業、関係機関が  
 気軽に相談できる場ができつつある



川面 充子 議員

**Q** 現在、協定を結んだ企業と、取り組み状況は？

**A** 町長

・栃木銀行  
 地域金融機関が持っているノウハウや情報の提供

・(株)システムソリューションセンターとちぎ企業が持つノウハウや情報の提供

・積水ハウス(株)子育て世代、自治会加入のPR、町で暮らしていくための情報提供

・高根沢高校・宇大若者の感性とバイタリティーを活かした町づくりのアイデア提供



ご存じ！たかねざわにじいろ焼きちゃんぽん

**Q** 今後継続させるために必要なことは？

**A** 町長

行政や民間企業、関係機関で、互いの持っている資源や能力を無理なく提供しあうことである。

※包括連携協定  
 企業と自治体が連携して社会課題の解決に取り組むことを「包括連携協定」と言います。この取り組みは全国的に広がっています。

**問** 町の不登校対策は？  
**答**【教育長】全国的に注目されている学校復帰を前提としない、「フリースペースひよこの家」

**教育**

**Q** 不登校児童生徒数の現状と課題は？

**A** 教育長

小学生5名、中学生27名おり、主な要因は、小学生は、家庭環境の急激な変化や親子関係など家庭におけること、中学生は、友人関係をめぐることが多くなっている。

**Q** ※教育の機会確保法をどう捉えているか？

**A** 教育長

注目すべき点は、「休んでもいい」ということ、「学校以外の場」が重要視され、居場所としてフリースクールが活動しやすい場となるには、「どの様な支援が必要か」を行政がともに考える必要がある。

**Q** 今後、どのように支援を進めるのか？

**A** 教育長

「どこで学ぶかではなく、なにを学ぶか」を念頭におき、「にわとりの会」を発足し、子どもたちが安心して学べる環境を創り上げていく。



子どもたちが安心できる居場所

※教育の機会確保法  
 平成27年12月施行  
 不登校の子どもたちの支援を進めることを目的とした「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」です。この法律には、2つのキーワードがあります。  
 「休んでもいい」ということ。「学校以外の場の重要性」を認めたことです。これらのことは、子どもも保護者にとっても自分を否定しなくてもいい、自己肯定感につながります。



# 防犯

## 問学校における万全な安全対策を 答【教育長】防犯カメラなどの整備と共に、 危機対処能力を身に着ける



佐藤 晴彦 議員

**Q** 近隣市町の学校において、ガラスが割られる事件が発生したが、本町の学校の安全対策の取り組みは、どのようになっているか？

**A** 教育長

各校において、学校安全計画を策定し、災害に対する「避難訓練」や、不審者が侵入した時の「防犯教室」を実施している。

また、校内の安全点検時に危険場所の確認や検討を行い、安全を守るための対応ができるよう取り組んでいる。夜間警備についても、校舎内外の巡回警備強化を指示している。



安全に過ごせる学校のため防犯カメラの設置を！



阿小で行った防犯教室

**Q** 防犯の観点での学校整備の計画はしているのか？

**A** 教育長

学校敷地内に、安易に不特定多数の方が侵入できる状況にならないよう、防犯カメラの設置計画を進めている。設置効果を検証するため、平成30年度はモデル校に防犯カメラを設置する。

また、学校の周囲にフェンスがない箇所は、状況を整理し、今年度中にフェンスを設置する。

# 教育

## 問2020年教育改革に向けた準備を 答【教育長】全町的なICT教育環境整備を 進めていく

**Q** 2020年から、小学5・6年生において、英語の授業が計画されている。計画が実施された場合、教員を確保する準備をしているのか？

**A** 教育長

小学校での英語指導を実施していくにあたり、小学校教員の指導力・専門性を一層高める必要性を感じている。英語教育推進委員会を中心に、指導方法や授業研究会の実施、英語教育推進リーダーの育成を図る。

また、県教育委員会へ専門性の高い教員の採用と配置、教員資質向上の研修機会の充実を要望する。

**Q** 英語、プログラミング教育を先進的に行うために、タブレットなどのICT教育環境整備は計画しているのか？

**A** 教育長

教育委員会では、段階的なICT教育環境整備に着手した。今年度は、全小中学校に電子黒板と書画カメラを各1台ずつと、小中各1校のモデル校にタブレット12台ずつを配備する予定である。モデル校の実践をもとに、全町的なICT教育環境整備を進めていく考えである。



最先端の教育環境整備を(タブレットを使った授業)



## 問 元気あっぷむらを道の駅にするための目的は？

### 答【町長】『地域創生』を具体的に実現する

### ための『地域拠点』づくり

観光



鈴木 伊佐雄 議員



地域づくりの核として「道の駅」

**Q** 「道の駅」化に向けて現在の進捗状況は？

**A** 町長

道の駅登録申請に關する業務委託として、本年5月に受託業者と契約を締結した。

登録申請資料の作成をはじめ、交通量調査などの基礎データの収集や関係機関との協議を重ねている。

平成31年度末の供用開始に向けて計画的に事業を進めていく。

**Q**

県内で24駅が登録されている。たくさんの方に登録されているなかで、誘客を図るための方策は？

**A** 町長

「道の駅」として「食文化及び健康づくりに親しむ場」として磨き上げ、「花」や「地酒」、「体験」に絡めたここにしかない観光の魅力を生かして創造する。

また、住民票や各種証明の交付等の行政サービス機能の整備や高齢者の健康づくり支援、買い物困難者への宅配サービス提供、地域間の交流・連携を促進し、日常生活を営むための「地域拠点」とした「地域創生」を実現する。

## 問 駅周辺の賑わいが創出しているイベント 今後も継続するのか？

### 答【町長】町の魅力を発信し「移住・定住・創業」につながる

### 重要なイベントとして継続をしていく

にぎわい

**Q**

ちよつ蔵広場で開催している「高根沢ロックサイドマーケット」今後も継続するのか？

**A** 町長

昨年の8月からこれまで5回開催し、回を重ねるごとに来場者が増え、今年の5月開催時には1万2000人を数えるイベントに成長した。

主な要因は、

- ① 「ちよつ蔵広場」の立地条件。宇都宮駅から2駅と近く、駅東口に接している電車でも来場する方には利便性が高い。
- ② 町内の店舗のほか、「集客力の高い」町外の店舗に出店してもらっている。

- ③ 毎回テーマを設定し、「次も来なくなるワクワク感」と「鮮度感」を保つための「可変性」を意識し、ターゲット戦略をしている。
- ④ 高根沢ローカルグルメと認定している食にこだわった商品を提供することによって、「ここに来ないと食べられない」というイベントに付加価値をつけている。
- ⑤ ソーシャルネットワークサービスの活用。

などが挙げられる。このイベントは、本町の魅力を発信するうえで大きな効果を上げており、移住・定住・創業にもつながる重要な位置づけをしていることから、今後も継続していきたい。



にぎわいの創出



# 問道路・橋梁は安全か？

## 答【町長】定期点検に基づき修繕を実施

道路



加藤 章 議員

9月定例会 特別委員会 委員会審議



JR烏山線の跨線橋

県内の橋梁点検の実施状況や他県の老朽化対策の取組状況、修繕事例をもとに道路施設の維持管理に係る意見調整や情報を共有する。他市町や他県の有益な情報を取り入れつつ、老朽化した道路施設の維持管理を的確に対応していく。

点検結果は、「健全」が27橋、「予防的保全」が57橋、「早期措置段階」が1橋となっている。修繕状況は、昨年度北区と中台を結ぶJR烏山線の跨線橋を修繕した。

A 町長

Q

本町の管理する橋梁の点検と結果、それに基づき修繕状況、緊急に修繕を要する橋梁の現状は？

Q

道路に関しては、「道路メンテナンス会議」が開催され、本町も参加しているが、計画的な修繕の実施に向けて、こういった調整が図られているのか？

A 町長

今年度は「早期措置段階」と判定された上高地区南部の野本川に架かる町道24号線の橋梁の修繕工事を実施する。

水道

# 問水道事業の現状と今後の見通しは

## 答【町長】計画的修繕で安心・安全な

## 水道水の供給に努める

Q

本町内の水道管の老朽化の現状と修繕計画、資金計画は？

A 町長

現在、法定耐用年数を経過している水道管は、全体359kmのうち約0.2kmとなっている。今後、耐用年数を迎える配水管は機能診断等の調査を実施し、更新計画及び資金計画を作成して、必要箇所の布設替えを計画的に進める。

Q

住民の水道料金負担を最小限にとどめるには、水道事業の抜本的な改革を積極的に進めるべきでは？

A 町長

平成22年4月から上下水道事業の一部について包括的業務委託を行い、水道施設の維持管理や窓口業務等を民間事業者へ委託し、固定費の削減など経営の効率化や住民サービス水準の向上を図っている。栃木県が主体となり平成28年度末に「市町村等水道事業広域連携検討会」が発足し、今後の水道事業における



水道の基盤となる給水塔

課題等の解決について、新たな取り組みがはじまっている。これからも、「安心・安全な水道水」を供給できるように、今後の見通しを適切に分析、判断した上で、安定した水道事業経営を図って行く。

# 問「キリンビール所有地」への企業誘致をどのように強化するのか？

誘致



## 答【町長】今後の企業誘致施策の見直しを早急に進める必要がある

神林 秀治 議員



企業誘致を期待！

**Q** 企業誘致の進捗状況は？

**A** 町長

引き合いや問合せは増えているものの、行政協議に進展した案件はない。

**Q** どのような企業をターゲットにしているか？

**A** 町長

雇用場の確保、地元への経済波及効果の拡大、税収の増加が期待できる製造業などである。

**Q** 企業がどのような用地を求めているかの把握は？

**A** 町長

町が直接、具体的に把握することは難しい状況である。

**Q** 誘致の手法をさらに改善・向上させるには？

**A** 町長

企業立地セミナーやイベント等に職員が出向いてPRを実施しており、今後も継続して行く。

**Q** 企業誘致競争に勝ち抜く強化策は？

**A** 町長

「6億円の補助」が、企業にとってインセンティブにならないという企業側の意見を踏まえ、企業誘致施策の見直しを早急に進める。

# ※ 問 援農ボランティア事業を実施しては？

農業

## 答【町長】ニーズの把握に努め、関係団体とも情報共有を図る

**Q** 将来にわたり町内の農地の有効活用を図ることを目的として、農家の手助けをする援農ボランティア事業を実施しては？

**A** 町長

すでに実施している東京都の国分寺市では、23戸の農家へ90名の援農ボランティアが登録されている。

本町においても、農業者の高齢化、後継者不足などの問題は、今後さらに深刻になっていくものと考えられる。したがって、これからの本町農業振興のために、援農ボランティア事業については、ニーズの把握に努め、関係団体等とも情報共有を図りながら研究していく。



農作業でリフレッシュ！

※援農ボランティア  
農業に興味・関心がある方を対象に、農業者が講師となった講習会において、農作業補助のスキルを身につけた後、農家でボランティア活動をしたいと、参加者は、良好な自然環境の中で健康増進と余暇の充実を図られ、同時に農業技術を習得できる。

# 問「元気あっぷむら」を道の駅に登録する 施策の進め方は？

## 答【町長】関係機関と十分な協議を 行いながら進める



渡邊 俊 議員

観光

9月定例会 特別委員会

委員会審議

研修報告

OH知識・まちづくり

一般質問



20周年をむかえる元気あっぷむら



2階憩いの大広間

Q

元気あっぷむらを道の駅に登録することで、将来においてどのような構想を抱いているのか？

A

町長

「元気あっぷむら」を「道の駅」にすることで、地域創生としての事業展開や、全国的に名がとおる「道の駅」を目指すことで、本町の観光・経済の拠点になりえる。

来年4月にスタートするJR東日本のディスプレイネーションキャンペーンで求められている「ここにしかない魅力を創造する」、ことが必要である。

これにより、来場者、売り上げが年々減少している状況に歯止めをかけ、開館当時のにぎわいを復活できると期待している。

Q

「元気あっぷむら」は、農林水産省の補助事業である「地域農業基盤確立構造改革事業」などを利用して設立された。しかし、「道の駅」所管の省庁は国土交通省である。一つの施設に対し、異なる二つの省庁をまたぐ事業となるが、問題はないのか？

A

町長

「道の駅」にする申請に関して、関係機関である宇都宮国道事務所と町で協議した結果、農林水産省の補助を受けた施設の「元気あっぷむら」を、「道の駅」として登録することに問題はないことを確認している。

ただし、補助を活用した事業や資産については、将来にわたり「補助金等適正化法」などによる制限がある。

1. 補助対象事業として承認された事業の廃止
  2. 補助対象とした資産の処分
  3. 譲渡や廃棄
  4. 承認された事業以外への転用
- などを行うには、必要な手続きをしなければならず、「元気あっぷむら」を「道の駅」に整備するには、今後も関係機関と十分な協議を行いながら進める必要がある。



# 問「広島平和記念式典」へ中学生を派遣しては？

## 答【教育長】中学生の派遣は考えていない

教育



森 弘子 議員

**Q** 原爆の悲惨さと平和の尊さを、身体で感じてもらうために中学生を「平和記念式典」に派遣しては？

**A** 教育長

広島「平和記念式典」には参加していないが、社会科の授業で「戦争の悲惨さ」や「原爆の被害」について学習し、「平和」の大切さや尊さを学んでいる。さらに修学旅行で、広島を訪れることから平和への理解や願いは高まっている。



平和の大切さを！

# 問ゴミのないまちづくりを推進するには？

## 答【町長】美しい町の景観が保たれるよう啓発に努める

環境

戦後70年以上を経過し、平和の大切さを次世代に広めて行くことは大変重要なことで、今後もこれらの教育活動を充実していくので、現時点では「平和記念式典」への中学生の派遣は考えていない。

**Q** 「高根沢町の美しく住みやすい環境づくりに関する条例」に罰則や罰金等の規定を設けてはどうか？

**A** 町長

条例で「不法投棄等の違反があった場合に勧告や命令をします。また、命令に従わないときは、その内容等を公表することができると規定しているが、現在までに勧告や命令を適用した事例がない。従って今のところ罰則や罰金等の規定を設ける考えはない。



中央小での「ステーション回収」

**Q** プラスチック製容器包装品の回収を拠点回収から「ゴミステーション回収」に変更することを検討しては？

**A** 町長

現在、エコハウスと中央小学校でプラスチック製容器・包装品の拠点回収を行っているが、限られた町民しか利用できていない状況だと認識している。ステーション回収にあたり、まず中央小で取り組んでいる事例を全小学校で行い、学校、家庭、地域が連携し、資源循環の理解を推進し、その後検討していく。

**Q** 「高根沢まち美化パートナー制度」の実施状況は？

**A** 町長

8月末で登録された団体は、行政区内の有志グループ1つと、3つの事業所、情報の森とちぎにある事業所で設立されている連絡協議会の計5団体で、のべ416人の参加がある。

この他、潜在的に活動している団体もあると推測されるので継続してパートナーの掘り起こしをしていく。



五行川の清掃活動

安全

## 問阿小の水道水は安心？

### 答成分検査を実施の結果

# 人体に影響のあるような成分は含まれない



横須賀 忠利 議員



Q

本年6月に、阿久津小学校で水道水に異物混入が発生し、本年1月にも同様の異物混入があった。  
町長は学校施設整備についてどう感じているのか？

A  
町長

水道管同士をつなぐ接着剤である「ヘルメシール」が流れ出たと判断している。

2カ所で成分検査をした結果、「人体に影響のある成分は含まれない」との結果がでた。  
今後、このようなことが起こらないためにも、より安全な工事管理関係法令等を遵守した施工の指導を行っていく。

Q

今後、同様の異物混入があった場合は、法的手段等を含めてどのような対応を図るのか？

A  
町長

今回の処置として、7月10日から4日間、校舎内外の水道管全てを施工会社の費用負担でファイバースコープで調査し、水道管の高圧洗浄を実施した。  
今後の対応として、これまでの判例、民法や関係する法令等を参考とし、施工会社等と協議し、子どもたちが安全な学校生活が送れるよう対応を進めていく。



建設

## 問東小学校建設にあたり受注業者に対する対策は？

### 答【教育長】第三者機関のチェックを受けながら進めていく

Q

学校建設に関わる業者選考及び施工に関して、国土交通省令をはじめ各種法令等を守るべきと思うが、工事現場も含めて守られているのか？

A  
教育長

設計業務に係る設計会社の選考は、プロポーザル審査委員会において審査し、設計会社を決定した。

工事に係る施工会社の選考は、入札に係る公告の資格要件に基づき審査し、入札した結果から施工会社が決定した。  
工事施工は、町、施工会社、設計会社、第三者機関の「とちぎ建設技術センター」を含めて、月2回の工事定例会を開催し工事を進めている。



行きとどいた資材の管理

町が発注する工事は、「契約事務規則」に基づき契約し、「建設工事監督執務要綱」等を踏まえた工事を監督している。  
工事現場では、さまざまな関係法令を遵守した工事が進められるよう、第三者機関にチェックをお願いしている。  
東小は、小中一貫教育をさらに推進するモデル校でもあることから、関係者と綿密な協議により共通理解を図り、第三者機関のチェックを受けながら、学校が建設されるよう、子どもたちにとってより良い学習環境となるよう、建設を進めていく。

広報委員の突撃  
インタビュー  
あなたの声を町政に

健康長寿  
日本一に!



∞プロフィール∞  
あじさか えいち  
鮎坂 英一さん

出身地：鹿児島県南九州市  
職業：ゴルフ、ハーモニカ等、  
多趣味

光陽台の民生委員

鮎坂英一さんに、第二の人生の過ごし方について聞いてみました。

背景：五行川の彼岸花

Q いつから高根沢にお住まいですか？

A 昭和57年、光陽台に移り住みました。

当時は、光陽台が宝積寺保留地と呼ばれて、まだ野原のような感じでした。

南区自治会に入れて頂き、人口が増えるにつれ、光陽台自治会が発足し、歴代の自治会長、役員、皆で新しいまちづくり而努力してきたと思います。

Q 民生委員の立場として、地域包括ケアをどのように考えていますか？

A 地域包括支援センターが関わって支援する事により、健康寿命を延ばすことが良いと思います。



シルバー大学学校祭

Q 民協農園を作ったそうですが？

A 民生委員全体で今年から始めました。地域の農家の方たちに指導を受けたり交流を持って楽しいです。

お年寄り宅を見回る時、できた野菜を持って行くなどと計画しています。



ダイコンの生育状況を見守る

Q 健康の秘訣は何ですか？

A サラリーマン時代は、仕事へのストレスや人間関係のトラブル等がありました。定年退職後は一切解放され、自分のペースで楽しく無理なく過ごしています。

家に閉じこもらず、人とのコミュニケーションを大切に。ポジションを大切にして。ポジティブな考え方を。持つ、悩む時間が無いほど忙しく過ごすこと、「人生は楽しい」という意識を持つ、それが秘訣ですかね。

Q 最近第二の青春を発見したということですが？

A 昨年からシルバー大学校に通っています。そこで、人生に生きがいや、やりがいを持つ授業やクラブ活動をしています。

ボランティアを通じて、感謝されることもあります。

皆様にも、ぜひお勧めしたいです。

Q 民生委員として、どのようなまちづくりを期待しますか？

A 高齢化社会において健康寿命を延ばすには、自助努力と互助の精神が豊かで環境が整っている事だと思います。

高根沢町が健康長寿日本一になればいいですね。

取材を終えて

退職後の人生をより充実させて過ごしているのを感じました。

今後も様々な声をお聞きし、町民と一体の議会を目指します。

暮らしの政治を見てみよう

議会傍聴へ  
お越しく下さい

次回の定例会は12月6日～15日です。

日程詳細・議事録は、  
町ホームページをご覧ください。

議会の情報をより早く皆様へ

次回の発行は1月20日になります。

議会だよりを一緒に作ってみませんか？

議会だよりを作成するにあたり、文章校正や誌面レイアウト、写真撮影などが得意な方、ぜひ一緒に作ってみませんか？

一

広報誌が  
スマホで  
見れて便利  
「マチイロ」&  
「栃木イーブックス」  
を検索

